

資格検定NEWS



資格検定取得についてのいくつかの言葉

皆さんを励ます、いくつかの言葉を紹介します。

資格は自分を少しでも優位に持っていくための武器になる。「資格より実務経験」が真実だとしても、それは「資格取得は無意味」ということとイコールではない。一般的にはやはりこの図式 経験＋資格＞経験のみ＞資格のみ＞どちらもなし”

資格取得というのはもともと既得権利者への挑戦の意味を含むものなのだ。

資格取得は「努力家」「まじめ」といった好印象を与えるはず。採用担当者は神様ではないので、仕事の出来不出来、将来の貢献度などを読むことは不可能。「資格」というわかりやすい判断基準は、採用側にとっても便利なもの。採用試験で同程度の能力の方を比較するとき、資格の有無が採否を分ける可能性がある。

体系的な知識を取得したり、自分の持つスキルや勉強の意欲を表現したりする手段として、資格は依然として有効である。

資格を取得すれば「資格を取得できるだけのスキルがある」と、客観的に評価される。人に認められることによって、不安は自信に変わる。

資格が就職に役立たなくても、資格の取得によって得られる自信が役立つ。「自分は一生懸命勉強して資格を取った」という事実は、一生涯、消えない。

資格取得によって、自分は何を得たいのか？それさえハッキリしていれば、「資格なんかとっても無駄」という言葉に惑わされることもない。